

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年1月17日

事業所名:かしのき学園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	遊具の配置を工夫している。また、遊戯室の利用には、人数が多すぎる事が無いように、時間帯をずらして各クラス使用できるように心掛けています。	17	3			・遊戯室には、感覚統合訓練器具等、指導訓練室には、楽しく遊び、訓練できる遊具を配置している。
	2 職員の適正な配置や専門性	配置基準以上の職員を配置している。職員の質の向上を図るため、研修の充実に努めている。	18	2			・職員は経験年数等を勘案し、配置している。 ・管理的立場の者は、必要に応じ指導室に入り、職員の指導等を行う。 ・研修は他団体への派遣研修、事業者主催研修、自主研修を奨励し、内容は職員間で共有している。 ・新任職員、中堅職員等に応じた発達障害の療育に関する基礎的・専門的な研修を受講させ、専門知識を深めていく。 ・職場研修にあつては、具体的な事例や感染症・危機管理など身近なテーマ等取り入れ、充実させていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備		18	2			・子どもたちにわかりやすいように工夫している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	トイレ、手拭きなどの使用については、衛生面に十分配慮し、指導や利用方法を工夫するなど努めている。	16	4			・衛生面に十分配慮し、日々の療育にあたっている。 具体的には、トイレでの着脱用の椅子は消毒し、ペーパータオルを用いる。 子どもや外来者の来園時には、手洗い方式をスプレー方式への変更を検討する。 給食の前後は手洗い、歯磨きなど励行して、子どもに習慣づけている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回職員会議、毎日終礼、クラス内反省にて話し合っている。	/				・継続して取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	年一回専門家の視察と意見交換を行っている。	/				・継続して取り組んでいく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部団体等からの情報を積極的に収集し、受講を奨励し、受講しやすい職場環境を整備している。	/				・継続して取り組んでいく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画の作成	19	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画は、子どもの課題を抽出し、支援目標、達成時期等を内容とした計画を保護者の同意を得て作成し、担当職員が支援している。</li> <li>・また、定期的にモニタリングを実施し、保護者にその状況を個人懇談会や親子通園の機会に、説明し今後の支援につなげる。</li> </ul>
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画の作成	/				
	3	児童発達支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	19	1			
	4	児童発達支援計画に沿った適切な支援の実施	19	1			
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	/				
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	/				
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	18	2			
		児童発達支援管理責任者が、個別支援計画を作成。その進捗状況を担任とともに、保護者に説明し、適宜計画を見直している。また、職員全員で子ども一人ひとりの支援を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に合わせて細かく課題など作られていると思います。</li> <li>・作成されている。</li> </ul>				
		児童発達支援管理責任者が、個別支援計画を作成。その進捗状況を担任とともに、保護者に説明し、適宜計画を見直している。また、職員全員で子ども一人ひとりの支援を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の進捗状況等を時々教えてもらえると良いな、と思います。</li> <li>・トイレトレーニングなど、食事を一人で食べたりなど、家ではなかなかやらない事も園ではできているみたいなので、良いと思います。</li> <li>・少しずつ出来る事が増えてきている。支援計画も適切だと思う。</li> </ul>				
		児童発達支援管理責任者が、個別支援計画を作成。その進捗状況を担任とともに、保護者に説明し、適宜計画を見直している。また、職員全員で子ども一人ひとりの支援を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行われていると思う。</li> </ul>				
		クラス担当職員が、週案、月案を作成し、全体会議で説明している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取り組んでいく。</li> </ul>				
		長期休暇などの過ごし方を「かしのき学園だより」で保護者に説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実させながら継続していく。</li> </ul>				
		子どもの様子や行事等を考慮し、プログラムを決定し、保護者へ説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、違う設定遊びなどがあって良いと思います。</li> <li>・工夫できていると思う。</li> </ul>				
		子どもの様子や行事等を考慮し、プログラムを決定し、保護者へ説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来通り活動プログラムが固定しないよう、工夫を重ねる。</li> </ul>				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	/				・継続して取り組んでいく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化					・継続して取り組んでいく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施					・継続して取り組んでいく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画の見直し					・継続して取り組んでいく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	/				
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施					
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備					
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有					保護者の了解を得て、就園・就学時に関係機関と現状や支援内容等の情報を交換している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
関係機関との連携(続き)	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	/					
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/				・継続して取り組んでいく。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	避難訓練、お店屋さんごっこ、音楽会などの行事を含め、効果的な交流を実施するため、隣接した保育園と協議し、年の後半に実施。	9	6		5	・保育園に隣接している特色を活かし、内容、回数など保育園と協議し積極的に実施する。その状況等は「かしのき学園だより」でお知らせする。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/				地域の老人会を運動会へ招待している。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	19	1			・わかりやすく説明されていたと思います。 ・説明されている。	・継続して取り組んでいく。
	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	18	2			・わかりやすく説明されていたと思います。 ・説明されている。	・継続して取り組んでいく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	14	5		1	・少人数でのペアトレがあれば良いな、と思います。(今はあってもクラス単位なので) ・園ではできていても、家に帰ってくると自分でやらない事が多いので、家でのトレーニングの上手なやり方を知りたいです。 ・行われている。	・親子通園などの機会に勉強会を実施しているが、保護者に対する子育て支援は重要な課題であり、検討している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	19	1			・継続して取り組んでいく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	18	2			・親子通園や個人懇談の機会に相談応じており、今後も行っていく。電話などで予約を受け付け個別相談に応じる。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	10	8		2	・保護者同士の意見交換や交流の場は、子どもの支援にも影響を与えるので、回数や運営方法を検討していく。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	15	4		2	保護者からの苦情や要望は、その都度解決していく。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	18	1			・継続して取り組んでいく。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	18	2			・「かしのき学園だより」の紙面を改善し、読みやすく、親しみやすいものにしていく。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	17	2		1	・継続して取り組んでいく。	
			連絡ノート、懇談会等の場で説明し、話し合いを行っている。	・毎日、連絡ノートを見るのが楽しみです。 ・理解、共通できていると思う。				
			個別に応じて対応している。 親子通園、懇談の場で細かく助言するよう努めている。	・強制ではない希望者のみの懇談があれば先生としっかり話ができるので良いな、と思います。 ・親子通園で他のお母さん達から聞く情報は役に立ちます。 ・行われている。				
			クラス別の懇談会の充実と全体会の運営方法などを検討。	・他のクラスの保護者の方とも、ゆっくり話せる場があると良いな、と思います。 ・グループLINEなので、情報は入ってきてます。 ・負担を考えての事だと思いますが、もう少し保護者同士(クラス懇談会)の話があってもいい。 ・全体の親子通園も少なく、他のクラスでしかもバスが違うと、全く誰かわからない。				
		苦情や要望の窓口を設けており、迅速に処理している。	・特に気になることはありません。 ・苦情があったかどうかわからないので、どう解決したか見えません。 ・適切にできています。					
		親子通園時で行う。	・親子通園時、最近はこの感じですよ、と教えてくださっていると思います。 ・できています。					
		毎月、給食内容や行事予定を記載した「かしのき学園だより」を発行し、行事予定とその結果及び時季に見合った、話題等の情報を掲載している。	・毎月のクラス毎のお便り、読むの楽しいです。 ・学園だより、字ばかりで少し見にくい。様子の写真を載せたり、クラスそれぞれ具体性が欲しい。 ・情報を十分に得られている。					
		個人情報の保護を徹底するように努めている。	・大丈夫だと思います。 ・できています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	16	3		1	・新しい情報を提供していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	16	2		2	・今後も継続していくが、方法等を検討していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	/				・継続して取り組んでいく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画への記載	/				・継続して取り組んでいく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	/				・継続して取り組んでいく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	/				・継続して取り組んでいく。